

【様式1別紙1-1】設備

固有の事業名を、記入漏れ無きよう必ず記入すること。

設備の高効率化改修支援事業
実施計画書（設備の高効率化改修による省CO2促進事業）

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

事業名		〇〇〇〇〇空調設備の高効率化改修による省CO2促進事業				
代表事業者	団体名	△△県〇〇市立病院				
	法人番号（半角）	XXXXXXXXXXXX				
	所在地	〒XXX-XXXX	△△県〇〇市丸の内1-1			
	主な業務内容	地域医療・介護・保健・福祉		産業分類	831	
	事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 院長 □□ 太郎				
	資本金	注) 民間企業の場合のみ記入 事業実施責任者は応募申請書の申請者と同一にすること。役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。また、様式1に記載の役職名と同一にすること。例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等				
	部署	総務部				
	役職	事務長				
	氏名	△△ 次郎	フリガナ	×× ジロウ		
	勤務先住所	〒XXX-XXXX △△県〇〇市丸の内1-1				
電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX番号	XX-XXXX-XXXX			
E-mail	XXXXXX@XXX.XX.jp					
団体名	事業実施責任者					
人番号（半角）	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail		
共同事業者						
事業実施場所等	注) 事業実施場所名を記入する。また、異なる区画・異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、各施設の関連性を記入する。					
区画住所	△△県〇〇市丸の内1-1		都道府県名から記入のこと		設備の種類分類コードの「アルファベット1文字と数字2桁」を記入すること。	
施設概要	<名称・主な業務内容> △△県〇〇市立病院：地域医療・介護・保健・福祉		建物用途区分	08260		
対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類	A01		
	交換	空調ファン用電動機 の交換	「対策の名称」のみを記入すること。対策個票・交換の「対策の名称」と同一にすること。			
追加	空調台数制御部品の追加		「対策の名称」のみを記入すること。対策個票・追加の「対策の名称」と同一にすること。			
施設概要	<名称・主な業務内容> 注) 同施設の中で、複数設備の部品交換等を申し込む場合には、必要に応じて行を追加すること。				建物用途区分	
対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
	交換					
追加						
区画住所	注) 隣接・近隣区画にある異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、必要に応じて行を追加すること。					
施設概要	<名称・主な業務内容>		建物用途区分			
対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
	交換					
追加						

設備の高効率化改修支援事業
(設備の高効率化改修による省CO2促進事業)
対策個票(交換) 1

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号	1		
対策の名称	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。 空調ファン用電動機の交換		
対象設備の概要	【基本情報】 用途 : 室内の冷暖房 エネルギー種別 : 電力 定格出力 : 合計 590kW 導入時期 : 平成20年 法定耐用年数 : 13年 1日及び1年の稼働時間 : 1日15時間 1年間約4700時間		
	【メンテナンス実施体制・実施状況】 *メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。 メンテナンス実施者: XXXX部 XX XX、実施頻度: 月1回、直近のメンテナンス実施時期: H29年4月 内容: 調整、点検、整備、清掃		
対策内容	【部品の交換】 * 実施する理由及びその内容を記入する。 下記部品交換及び交換部品のチューニングにより、当初の性能以上の効率を確保する。 経年劣化した空調用コンプレッサー及びファン用電動機などの部品を改良した最新の部品に交換する事により、当初の性能以上の効率改善を行う。また、制御基板の圧縮機制御プログラムで交換部品に合わせたチューニングを行うことにより、効率的に電力使用量の低減を図りたい。		
	①交換する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量		
	①部品名	②製造メーカー	③型式 など
	空調ファン用電動機	XXXXX	AAAAA/BBBBB/CCCCC/DDDDD
			27

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

光熱費・CO2削減効果

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力	20	¥/kWh	0.000512	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油		¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油		¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油		¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス(LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス(LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス(LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	
ガソリン		¥/l	2.32	kg-CO2/l	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量(年間)				単位	光熱費削減費 ¥	CO2排出削減量 t-CO2	備考
	設備導入当初	現状(P)	改修後(A)	削減量(P-A)				
系統電力	428,000	433,000	421,000	12,000	kWh	240,000	6.1	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス(LPG)					t			
液化天然ガス(LNG)					t			
天然ガス(LNGを除く)					1,000Nm3			
ガソリン					l			
年間合計						240,000	6.1	

(対策個票添付資料)

- ①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料
 - ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
 - ・対象設備のシステム図や配置図
- ②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

設備の高効率化改修支援事業
 （設備の高効率化改修による省CO2促進事業）
 対策個票（追加） 2

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号	2															
対策の名称	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。 空調台数制御部品の追加															
対象設備の概要	【基本情報】 用途 : 室内の冷暖房 エネルギー種別 : 電力 定格出力 : 合計 590kW 導入時期 : 平成20年 法定耐用年数 : 13年 1日及び1年の稼働時間 : 1日15時間 1年間約4700時間															
	【メンテナンス実施体制・実施状況】 *メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。 メンテナンス実施者: XXXXX部 XX XX、実施頻度: 月1回、直近のメンテナンス実施時期: H29年4月 内容: 調整、点検、整備、清掃															
対策内容	【部品の追加】 * 実施する理由及びその内容を記入する。 空調台数制御部品の追加する事により、空調機器運転の台数適正化を図り、効率的に電力使用量の低減を図りたい。															
	①追加する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量 <table border="1"> <thead> <tr> <th>①部品名</th> <th>②製造メーカー</th> <th>③型式 など</th> <th>④数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調台数制御部品</td> <td>YYYYYY</td> <td>EEEEEEE</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量	空調台数制御部品	YYYYYY	EEEEEEE	2							
①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量													
空調台数制御部品	YYYYYY	EEEEEEE	2													

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

光熱費・CO2削減効果

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力	20	¥/kWh	0.000512	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油		¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油		¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油		¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス (LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス (LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス (LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量 (年間)				単位	光熱費削減費 ¥	CO2排出削減量 t-CO2	備考
	設備導入当初	現状 (P)	改修後 (A)	削減量 (P-A)				
系統電力		433,000	410,000	23,000	kWh	460,000	11.8	
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス (LPG)					t			
液化天然ガス (LNG)					t			
天然ガス (LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						460,000	11.8	

(対策個票添付資料)

- ①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料
 - ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
 - ・対象設備のシステム図や配置図
- ②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。

設備の高効率化改修支援事業
(設備の高効率化改修による省CO2促進事業)

経費内訳

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	6,637,869 円	0 円	6,637,869 円	6,373,889 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7)×補助率
	— 円	6,373,889 円	6,373,889 円	3,186,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

経費区分・費目・細分に従って、各細分ごとにまとめて記載すること。

1000円未満の端数は切り捨てること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費			* 見積書との照合番号
本工事	交付規程『別表第2』の経費区分・費目・細分に従って記入すること。	金額の算出根拠が明確になるように詳細に記入し、見積書等と対比できるようにすること。	
材料費	1,792,889	762,889 ファン用電動機等 1,030,000 台数制御部品	<1> <2>
労務費	2,086,000	1,985,000 ファン用電動機等の交換 101,000 台数制御部品取付	<3> <4>
現場管理費	570,000	530,000 ファン用電動機等の交換 40,000 台数制御部品取付	<5> <6>
一般管理費	665,000	600,000 ファン用電動機等の交換 65,000 台数制御部品取付	<7> <8>
測量及び試験費	1,260,000	1,110,000 ファン用電動機等の交換 150,000 台数制御部品取付	<9> <10>
合計	6,373,889		

内訳に補助対象外の経費は記入しない。

見積書中の番号と一致させること。

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
ファン用電動機等	冷房/暖房能力□590kW	1	4,987,889	4,987,889	2019年11月
台数制御部品	台数制御部品	1	1,386,000	1,386,000	2019年11月

この金額は「ファン用電動機等」の材料費のみでなく労務費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額を記入のこと。

注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。

設備

■日本標準産業分類コード

「数字3桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 831

■建築基準法:建築物用途区分コード

「数字5桁」を記入する。

例)病院 ⇒ 08260

■設備の種類分類コード表

「アルファベット1文字と数字2桁」を記入する。

例)換気設備 ⇒ B01

ここを転記する。



大分類		中分類	
A	空気調和設備	A01	空調熱源設備・システム
		A02	空気調和設備の搬送機
		A03	その他
B	換気設備	B01	換気設備
		B02	その他
C	給湯設備	C01	給湯熱源設備・システム
		C02	熱媒体輸送管
		C03	その他
D	冷蔵・冷凍設備	D01	冷蔵・冷凍設備
		D02	その他
E	ボイラー設備	E01	ボイラー
		E02	ボイラー関連・付属設備
		E03	その他
F	燃焼設備	F01	燃焼設備
		F02	その他
G	熱利用設備	G01	熱回収設備
		G02	熱交換器
		G03	蒸留塔
		G04	加熱設備
		G05	蓄熱装置
		G06	廃熱回収設備
		G07	熱媒体輸送管
		G08	その他
H	電気設備	H01	受変電設備
		H02	モーター
		H03	その他
J	その他	J01	その他